



エコ粘土工作



一日司書体験



『おはなしぼけっと』は、毎月第4土曜日に市立図書館を会場に、絵本の読み聞かせや紙芝居のほか、人形劇、パネルシアターなどを催しています。

## 『読書の時間』についての 幌別小学校児童の声

(平成13年度実施『読書の時間』についてのアンケートより抜粋)

心を落ち着かせることができる  
気持ちを作って、勉強に向かえる  
いろいろなことを考えさせてくれる  
たくさん読めるようになった  
自分から本を読みたくなった  
本が友だちになったような気がする  
すらすら読めるようになった  
漢字がわかるようになった  
登場人物の気持ちをいろいろと考えられるようになった  
想像力が豊かになった  
使える言葉が増えた  
自分の意見が言えたり、人の考えが聞けるようになった



### 利用案内

市立図書館  
中央町5丁目21番地1  
(☎854324)  
ホームページアドレス  
<http://library.city.noboribetsu.hokkaido.jp>

【休館日】  
毎週月曜日  
国民の祝日(ただし、月曜日に当たるときは、その翌日)  
図書整理日(月の最終金曜日)  
特別整理月間(7月中の7日間)

【開館時間】  
火曜日～日曜日 10時～18時

題図書などを押し付けたり、感想文などを書かせることはしません。自分の好きな本を自ら探し、自分の力で読めるものを楽しく読むことが大切ですね。さまざまな学校行事があります。ほとんど中止することなく、児童と教員が一緒に朝の読書を続けています」と読書の取り組みを説明してくれたのは、幌別小学校の教諭で文化部を担当する熊谷いづみさんです。



熊谷いづみさん

「『読書の時間』は、多くの子どもたちに好評のようです。読書で心を落ち着かせて授業に入ることでできますし、想像する力、伝える力、そしゃくする力をはぐくむことにもつながります。子どもたちには、たくさん本に出会い、さまざまな生き方に触れて、考え方の幅を広げてほしいですね」

もっと、市立図書館を利用しましょう

「図書館という本や資料を蓄えて貸し出すというイメージを持たれている方が多いのではないのでしょうか。実際は、生涯学習に関

わる分野の多くが、図書館の業務に関わっていますので、市民のみならずにもっと広く市民活動の場として利用してほしいですね」と話すのは、市立図書館の清野良憲館長です。



清野 良憲さん

市立図書館では、工作教室の開催やビデオ上映、市内の児童を対象に図書館の司書を体験してもらう『一日司書体験』など、図書館を身近に感じてもらうよう取り組んでいるほか、市民活動の場として会議室やロビーを提供しており、紙芝居、講演会、演奏会などが開かれています。

「気軽にカウンターに声を掛けてください。たとえば、本棚や図書の検索用パソコンを調べて目的の図書などが無いときは、インターネットを利用し、他の図書館から取り寄せることもできます。自分で何を読んだらよいか分からないうちなど、職員が評判の良い図書を紹介しますよ」

市立図書館では、所有していない図書をインターネットを利用して、他の図書館から取り寄せ、市

民のみなさんに貸し出しているほか、登別市と室蘭市、伊達市の三市で、図書の相互利用も行うっており、市民のみなさんは室蘭市や伊達市の市立図書館に直接出向き、利用の登録をして図書などを借りることもできます。

また、インターネットに接続されているパソコンを利用し、市立図書館のホームページから図書館の蔵書を検索し、貸し出しの予約もできます。

すてきな本にたくさん出会い、心の貯金をしたい

自分の子育てを振り返ってみると、子どもの読書の効果を学習的な能力ばかりに期待しがちであったように思います。

今回のリポートで感じたことは、読書とは学習面ばかりではなく、感動や想像を繰り返しながら心豊かな人間になるための土壌づくりだということです。

幸い、登別市にはいち早くコンピュータの導入を図るなど、環境が整った図書館があり、職員も親切で気軽に本の相談にももっていただけました。みなさん、もっと、図書館を利用しましょう。

私も子どもと一緒に、「あー面白かった」という本にたくさん出会い、共鳴しあって、心の貯金をしていきたいと思えます。